

大台ヶ原 樹木ネット巻きボランティア活動

9月28日(土曜日)、大台ヶ原に隣接する大杉谷国有林で、公募で集まったボランティアにより、ニホンジカの樹皮剥ぎを防ぐために樹木にネットを巻く作業を行いました。

大杉谷国有林から大台ヶ原にかけては、かつてはうっそうと木々が立ち並び苔むす森でしたが、樹木がニホンジカの食害を受け、森林の衰退が進んでいます。三重森林管理署では、これ以上被害が拡大することを防ぐため、樹木の保護や植樹などの活動を行っています。この活動の一環として、樹木にネットを巻く作業を行うボランティアを募集したところ、30名近くのボランティアが集まりました。

大杉谷・大台ヶ原山系は日本有数の多雨地帯で、熊野灘から湿った空気が吹き上げられるため、霧が発生することが多く、当日も霧の中での作業となりましたが、ボランティアのみなさんは協力して手際よく作業を行い、用意した200枚のネットを全て巻き終えることができました。

大台ヶ原はこれから紅葉シーズンを迎え、大勢のハイキング客でにぎわう季節に入ります。ボランティアのみなさんの地道な活動も、多くの方々に大台ヶ原の自然を楽しんでもらうための一翼を担っています。



ニホンジカの食害を受けた立ち枯れの木が目立ちます



協力して木にネットを巻きます



手分けして作業を進めます



参加者のみなさんで記念写真